



2020年11月10日

各位

会社名 株式会社大塚商会  
 代表者名 代表取締役社長 大塚 裕司  
 (コード番号 4768 東証第一部)  
 問合せ先 取締役兼常務執行役員  
 経営管理本部長 森谷 紀彦  
 (TEL. 03-3264-7111)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向及び市場環境等を踏まえ、2020年8月7日の第2四半期決算発表時に公表した2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結業績予想

2020年12月期通期連結業績予想数値の修正(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	839,000	63,700	64,600	43,530	229 59
今回修正予想(B)	830,000	57,300	58,400	39,380	207 70
増減額(B-A)	△9,000	△6,400	△6,200	△4,150	—
増減率(%)	△1.1%	△10.0%	△9.6%	△9.5%	—
(ご参考) 前期実績(2019年12月期)	886,536	62,192	63,706	43,497	229 42

#### 2. 修正の理由

2020年8月7日に発表した「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の通り、新型コロナウイルス感染拡大により当社業績も特にサプライ及びコピー保守のビジネスで影響を受け第2四半期連結累計期間における営業利益の計画差異(不足)は56億89百万円でありましたが、7月単月の計画差異(超過)が約30億円となる見通しであったことを踏まえ、通期連結業績予想を売上高について修正した一方、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については、2020年2月3日に公表した期初の連結業績予想を据え置いておりました。

その後、第3四半期(7～9月期)における市況の回復は緩やかであり、第3四半期(7～9月期)における営業利益の期初計画差異(超過)は9億23百万円となり、第3四半期連結累計期間における営業利益の期初計画差異(不足)は47億65百万円となりました。

本日2020年11月10日に発表した2020年12月期第3四半期連結累計期間の業績と、第4四半期(10～12月期)の市場環境、見通しを踏まえ、2020年8月7日に発表した通期連結業績予想を上記の通り修正することといたしました。今後、第4四半期(10～12月期)の市場環境(新型コロナウイルス感染拡大などの影響)を見極めながら、業績予想の修正が必要となりました場合には速やかに公表いたします。

なお、配当に関しましては、2020年2月3日に発表した計画1株当たり115円を変更せず、11期連続の増配に努めてまいります。

(注) この資料に記載しております売上高および利益の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の売上高および利益は予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上